

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名【新】特別天然記念物オオサンショウウオ保全推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部県民文化局 文化伝承課 記念物保護係 電話番号：058-272-1111(内3146)

E-mail：c11148@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 600千円 (前年度予算額：0千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	600	0	0	0	0	0	0	0	600
決定額	579	0	0	0	0	0	0	0	579

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

令和5年、特別天然記念物に指定されているオオサンショウウオとチュウゴクオオサンショウウオの交雑種の生息が県内で初めて確認された。

交雑種は天然記念物に該当せず、オオサンショウウオの交雑が進むことは特別天然記念物のオオサンショウウオが失われることに繋がるため、交雑種の生息拡大を防ぐ対策が必要である。

(2) 事業内容

交雑種の生息拡大防止を目的に、市町村が実施する生息状況調査等を支援するため、次の事業を行う。

○市町村が実施する生息状況調査に必要な資機材の貸し出し

○市町村及び河川工事事業者への研修会（生息状況調査の方法や交雑種の形質的な見分け方について）

○県が実施する河川工事事業において発見された交雑疑惑個体のDNA解析

(3) 県負担・補助率の考え方

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	21	研修会講師謝金
旅費	23	現地調査旅費
需用費	346	生息状況調査に必要な資機材
役務費	210	交雑疑惑個体発見時のDNA解析費
合計	600	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ
なし

(2) 国・他県の状況

市町村が実施する事業費の一部を県と国が補助している。

(3) 後年度の財政負担

国の動向を注視しつつ、後年度も継続して実施する予定である。

(4) 事業主体及びその妥当性

オオサンショウウオは岐阜県内の広域に生息しているため、生息域が行政区域をまたいでいる。岐阜県は広域地方公共団体として、市町村と連携し、交雑種への対策を進める必要がある。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

交雑種の生息拡大を防止を目的とし、市町村が実施する調査や県事業で発見された交雑疑惑個体のDNA解析を支援することで、将来的に県内の交雑種の減少と特別天然記念物オオサンショウウオの保全を目指す。

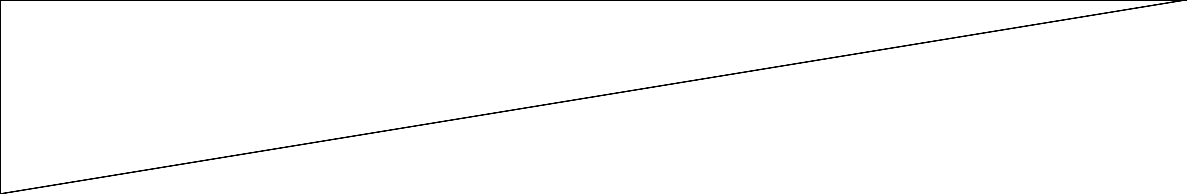
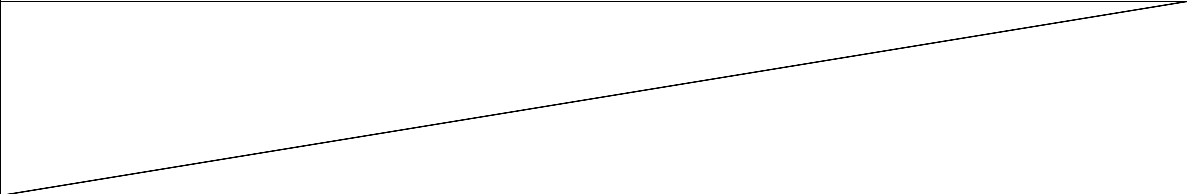
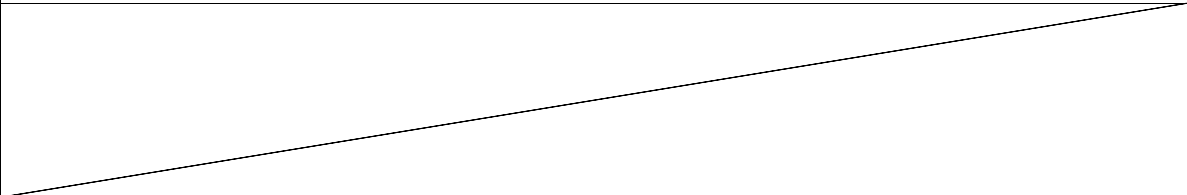
（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

交雑種の個体数の減少が、数値として表れるには10年以上を要するため、現時点で目標数値を掲げることが不可能である。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	 <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和3年度	 <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和4年度	 <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 3	<p>令和5年の岐阜県内初のオオサンショウウオ交雑種発見を境に自治体及び国や専門家からの調査への要求は高まっている。そのため、特別天然記念物オオサンショウウオの保全ためにも、県が主体となり市町村の調査の支援やDNA鑑定、研修会を実施することが妥当である。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 0	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 0	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>交雑種を河川から完全に隔離するには時間を要する。他県でも対策事業を10年以上行っている事例もある。そのため、次年度も継続的な調査と交雑種の隔離を行う必要がある。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	